



第59期 年次報告書

2017年4月1日～2018年3月31日



インヴァスト証券株式会社

証券コード：8709

存在する目的

Mission

世界をもっと、良い場所にする

世界中の人々の金融面における課題を解決するソリューションを提供し、人々の幸せを通じて世界を「もっと良い場所」にする。

私達の考える「もっと良い場所」とは、一生懸命働いている人が、ちゃんと豊かになれる世の中であり、優秀で、意欲のある学生が、お金を理由に未来の選択肢を諦めなくても良い世の中であり、どんな人でも、幸せになるための資産形成ができる世の中です。

私達のミッションは、世界中の人々が、それぞれに想い描く人生設計において、金融面の課題を解決するソリューションを生み出すこと、挑戦する人をサポートし、より多くの人々が人生を豊かにするためのチャンスをつかむお手伝いをすることです。

金融という側面から、世界中の人々の幸せを通じて、より良い世界の構築に貢献していきたいと考えております。

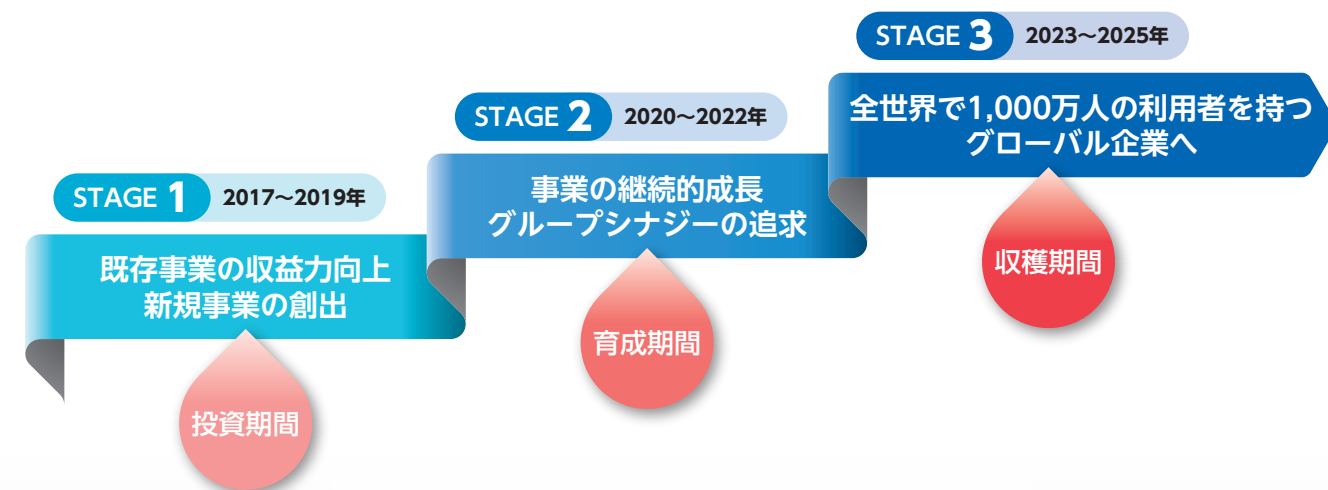
目指す姿

Vision

2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出す

資産運用からスタートし、育児や教育、就職や結婚、資産形成など、世界中の人々の人生における様々な分野で、金融面の課題を解決するソリューションの創造を目指します。

私達は、全世界から集まった優秀な人材が、日々、本物のプロフェッショナルとしての責任を果たし、ビジョン達成のために議論し、決断を下し、実行に移す、世界中に顧客を持つグローバル企業になります。その第一歩として、2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出します。



経営戦略

STAGE 1 2017～2019年

1

既存事業の収益力向上

- 独自の付加価値サービスの提供力強化
(テクノロジーを活用した自動売買ソリューション)
- 高い収益性、成長が見込める事業への優先投資
- システム統合、内製化等によるコスト構造改革

2

新規事業の創出

- 新たなビジネス領域への進出
FX事業に次ぐ第2・第3の収益の柱を創る
- 人々のお金に関する課題解決を軸とした事業模索
- VCファンド出資を通じたM&A、事業提携等

3

その他

- 企業ブランドの構築
- グローバル展開に対応しうる優秀な人材の獲得、組織の人材基盤強化

03 トップメッセージ

株主の皆さまには、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、今後の事業拡大とさらに高い目標に向かって挑戦する決意を含め、2016年7月に新たなミッション・ビジョンを掲げました。

新しいミッション、「世界をもっと、良い場所に作る」という言葉には、既存のFX事業を出発点として、より広く、様々な事業領域に成長拡大していきたいという想いが込められており、当社グループは「2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出す」というビジョン達成に向け、具体的な戦略を明確にし、アクションプランを実行しております。

当期におきましては、積立投資サービス「マネーハッチ」をリリースいたしました。「マネーハッチ」は、クレジットカードのポイント等を投資元金として自動的に国内外のETF（上場投資信託）に投資する、元手資金ゼロから投資を始めることができる世界初の資産運用ツールです。

マネーハッチを通じてお預かりした投資資金は、2016年4月にサービスを開始した「トライオートETF」の差金決済取引（CFD）の仕組みを利用して運用されることにより、現物外国株投資のネックとなる元本為替リスクを排除する等、当社独自の付加価値のあるサービスとなっております。

「マネーハッチ」リリース等の後押しにより、「トライオートETF」事業は、取引量、預り証拠金が急増し、FX事業に次ぐ当社の主力事業として大きく成長した1年となりました。

また、オーストラリア連結子会社Invast Financial Services Pty Ltd.（IFS）は、年間を通じて安定的かつ継続的な収益性を維持し、グループ収益に寄与しました。

こうして、当社グループの営業収益は41億66百万円（前期比117.4％）となり、営業利益は6億1百万円（前期は42百万円の営業損失）、経常利益は5億75百万円（前期は70百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益は5億97百万円（前期は1億18百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

当社グループは、今後も「様々な人々の、お金に関する課題を解決するソリューションを生み出す会社」を目指してまいります。

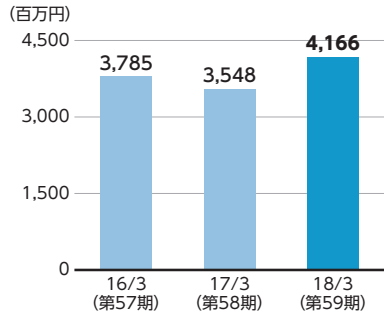
株主の皆さまには、今後ともインヴァスト証券グループの成長にご期待いただくとともに、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



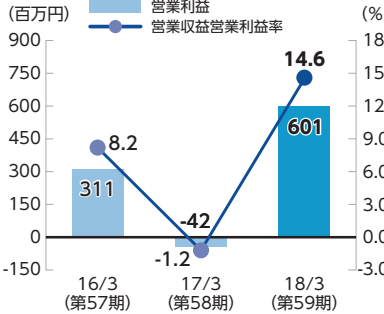
2018年6月 代表取締役社長 川路 猛

04 財務ハイライト

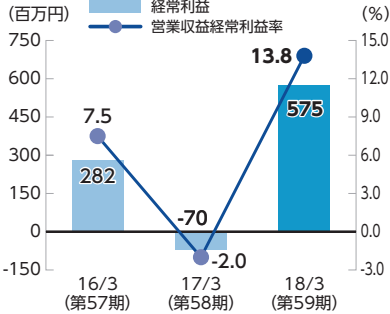
営業収益



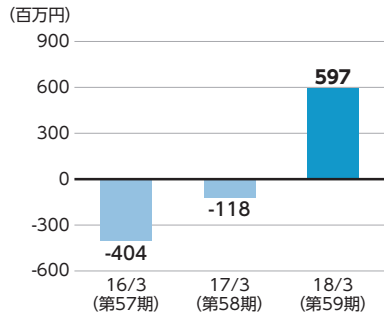
営業利益・営業収益営業利益率



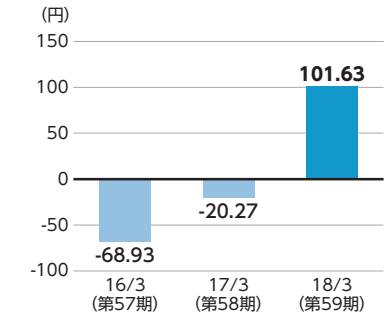
経常利益・営業収益経常利益率



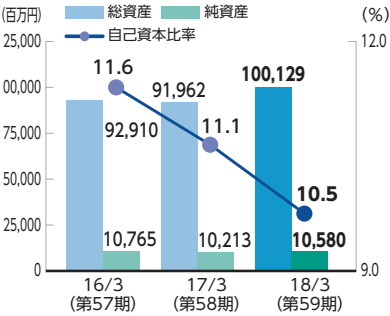
親会社株主に帰属する当期純利益



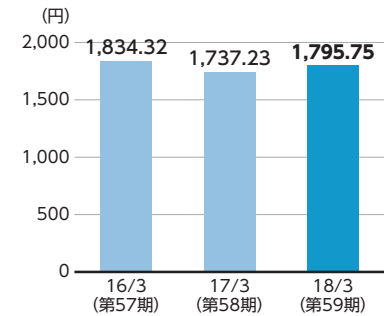
1株当たり当期純利益



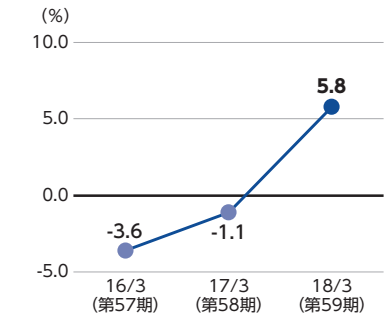
総資産・純資産・自己資本比率



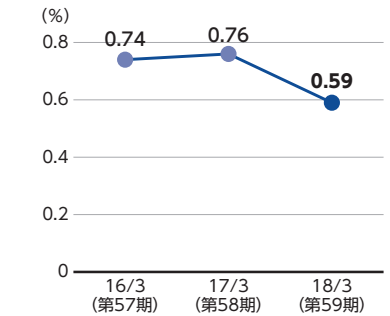
1株当たり純資産



自己資本利益率 (ROE)



株価純資産倍率 (PBR)



積立投資サービス「マネーハッチ」

元手資金ゼロから始める世界初の資産運用ツール「マネーハッチ」



「マネーハッチ」とは？

クレジットカードのポイントなどを投資元本にすることで、元手ゼロから始めることができる積立投資です。

様々な方法で積み立てられた資金は、週に1回、定期的にETF（上場投資信託）を自動売買し、実現利益は再投資されます。

投資用資金はゼロ円からスタート ～ポイントを原資に～

- 還元率1%のインヴァスト専用クレジットカードから毎月自動的にポイントが現金化
- 当社がご提供する各種サービスでの取引キャッシュバック
- 当社にご開設いただいている各種サービス口座／銀行口座からの自動振り替え

自動で世界に分散投資

- 投資先は国内外のETF（上場投資信託）
- マネーハッチ開始時の自動売買における投資スタイル設定は「世界株自動売買ETF」
- CFD（差金決済取引）形式での売買のため、投資元本は為替リスクなし
- 手数料無料で0.1口からの小額買い付けが可能

自動売買積立投資

- 相場の上値動きに伴い、安いところで買付け、値上がりしたら利益確定し、下がったところで再度買付けたり、利益を再投資に回すなどを完全自動



「マネーハッチ」画面イメージ

ポイント積立投資専用クレジットカード「インヴァストカード」

「インヴァストカード」は、クレジットカード利用時にたまるポイントを毎月現金に交換し、世界のETF（上場投資信託）に投資するポイント積立投資専用クレジットカードです。

インヴァストカードは、株式会社ジャックスを発行会社とした提携カードとして提供しております。



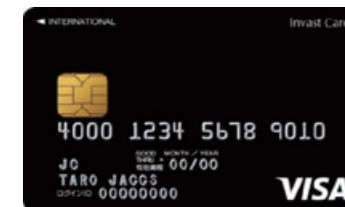
インヴァストカードのポイントを積み立て原資に

クレジットカード利用額の1%が投資原資としてキャッシュバックされます。1ポイント＝1円の単位からインヴァスト証券の口座に毎月自動でキャッシュバック。交換手続き不要。

口座キャッシュバック後に自動で世界のETFへ投資。

カード利用で自動的にスタートします。

インヴァストカードのお申込みは、マネーハッチから行っていただきます。



インヴァストカードイメージ

【トライオートETF リスク・費用などの重要事項】

本取引は、対象とする銘柄の価格変動や、金利等、外国為替の価格変動、原市場の状況および原資産の発行者による信用状況の悪化等により損失が生ずるおそれがあります。保有ポジションについては、金利・貸株料調整額や分配相当額の受払いが発生する場合があります。当社は、有効証拠金率が一定水準以下となった場合、全建玉を自動的に強制決済（ロスカット）いたしますが、本取引は、預託すべき証拠金額以上の取引が可能のため、急激な相場の変動等によっては、証拠金の額を上回る損失が発生するおそれがあります。原市場が定める上場廃止基準に該当して、上場廃止となる場合があります。

●売買手数料は、新規・決済注文ともに無料です。●本取引は、各銘柄の売付けの価格と買付けの価格に差（スプレッド）があり、相場急変時等はスプレッドが拡大する場合があります。●証拠金は、個人・法人ともに1口あたり想定元本の円換算額の20%以上となっており、証拠金の約5倍までのお取引が可能です。●本取引は、元本および収益が保証された取引ではありません。お取引にあたっては、本取引の仕組み、内容およびリスクを十分にご理解いただいたうえで、お客様ご自身の責任と判断でお取引いただきますようお願いいたします。その他の重要事項については、ホームページを必ずご確認ください。●トライオートETFのリスク・重要事項については、当社ホームページをご覧ください。https://www.invast.jp/etf/service/risk/

ネット上のNews／SNSを活用可能なトレーディングAIを開発、特許出願

インヴァスト証券は「人工知能」および「ネット上のNews／SNS」を活用可能なトレーディングAIを開発し、このアイデアの基礎部分に当たる発明について、特許を出願しました。

当社データサイエンス部では、2017年より以下の取り組みを行ってまいりました。

- ✓ ディープ・ラーニング技術を活用し、相場予測精度を改善する。
相場予測は、マーケットサイクルに対する考慮がなされる必要がある。
- ✓ 相場急変時の損失事前回避の可能性を高める、または収益機会を逃さないため、「ネット上のNews／SNS」の有効活用を実現する。
- ✓ 取引は差別化されるべきであり、お客様自らがAIを改良・改変できるようにする。
- ✓ 作成されるAIはFXまたはETFだけではなく、個別株、コモディティや仮想通貨など広く応用が利く仕組みとする。
- ✓ AIは常に学習を続け、予測および取引の失敗を今後に生かす仕組みを持つ必要がある。

現在は、当コンセプトの実現性および可能性の確認が期待通りに完了し、今後さらに精度および機能の強化を進めてまいります。

現時点では「弊社既存ビジネス内での活用」、または「新規ビジネスとしての展開」の両面での活用について検討段階であり、具体的な導入スケジュールはございません。

今後も、お客様の利益に貢献することを目指し、先端技術の応用に努めてまいります。

特許出願の概要

出 願 番 号：特願2018-062535
 発明の名称：取引支援システム、
 取引支援方法および取引支援プログラム
 特許出願人：インヴァスト証券



IFS ラグビーオーストラリア代表の オフィシャルパートナー就任

豪州子会社IFSは、ラグビー男女セブンズチーム、オーストラリア代表（オリンピックスポーツ）の2018年オフィシャルパートナーに就任しました。

女子チームは、2016年リオオリンピックでの金メダリストです。

IFSは、日本で開催される2019年のラグビーワールドカップ、2020年のオリンピックに向けてスポンサーシップを拡大する予定です。



連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表（要旨）（単位：百万円）

科 目	当期 2018年3月31日現在	前期 2017年3月31日現在
資産の部		
流動資産	99,099	90,862
固定資産	1,030	1,099
有形固定資産	82	94
無形固定資産	425	601
投資その他の資産	522	404
資産合計	100,129	91,962
負債の部		
流動負債	89,467	81,671
固定負債	61	54
特別法上の準備金	19	23
負債合計	89,549	81,749
純資産の部		
株主資本	10,515	10,228
資本金	5,965	5,965
資本剰余金	2,313	2,313
利益剰余金	2,270	1,987
自己株式	△34	△38
その他の包括利益累計額	36	△26
その他有価証券評価差額金	38	△0
為替換算調整勘定	△1	△26
新株予約権	5	3
非支配株主持分	22	8
純資産合計	10,580	10,213
負債・純資産合計	100,129	91,962

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書（要旨）（単位：百万円）

科 目	当期 2017年4月1日から 2018年3月31日まで	前期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
営業収益	4,166	3,548
受入手数料	604	711
トレーディング損益	3,273	2,516
販売費・一般管理費	3,508	3,587
営業利益又は営業損失（△）	601	△42
営業外収益	7	0
営業外費用	33	28
経常利益又は経常損失（△）	575	△70
特別利益	41	28
特別損失	1	61
税金等調整前当期純利益	615	△102
法人税、住民税及び事業税	63	3
法人税等調整額	△44	12
法人税等合計	18	15
当期純利益又は当期純損失（△）	597	△118
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失（△）	597	△118

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）（単位：百万円）

科 目	当期 2017年4月1日から 2018年3月31日まで	前期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,050	△425
投資活動によるキャッシュ・フロー	△184	△1,042
財務活動によるキャッシュ・フロー	△309	△436
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	42
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,564	△1,862
現金及び現金同等物の期首残高	4,108	5,971
現金及び現金同等物の期末残高	5,673	4,108

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社・株式情報

会社概要（2018年3月31日現在）

社 名	インヴァスト証券株式会社
所 在 地	〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目6番21号
設 立	1960年8月
資 本 金	59億6,508万円
事 業 内 容	金融商品取引業
連結子会社	Invast Financial Services Pty Ltd.

役員構成（2018年6月27日現在）

代表取締役社長	川 路 猛
常 務 取 締 役	三ヶ田 裕 信
取締役（非常勤）	ホワイト ギャビン
取締役（非常勤）	川 路 耕 一
取 締 役 （常勤監査等委員）	安 藤 聡
社 外 取 締 役 （ 監 査 等 委 員 ）	淡 輪 敬 三
社 外 取 締 役 （ 監 査 等 委 員 ）	安 藤 ま こと

株式の状況（2018年3月31日現在）

発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	5,904,400株
（うち、自己株式の数）	28,035株
株主数	3,793名

大株主（上位10名）（2018年3月31日現在）

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
川 路 耕 一 信 託 口	3,136,100	53.4
光 陽 株 式 会 社	443,800	7.6
川 路 洋 子	175,400	3.0
川 路 猛	146,000	2.5
E H 株 式 会 社	117,200	1.8
川 路 耕 一	75,000	1.2
森 井 利 幸	67,000	1.1
SMBC日興証券株式会社	52,900	0.9
安 藤 ま こと	46,800	0.7
淡 輪 敬 三	44,800	0.7

（注）持株比率は自己株式（28,035株）を控除して計算しております。

期末配当について

当社は、継続的かつ安定的な配当を実施するため、連結配当性
向30%または連結純資産配当率（DOE）2%（年率）のいずれか
高い方を目安とした配当を、年2回（中間・期末）実施いたします。
当期の期末配当につきましては、上記方針に基づき1株当たり
19円とすることを決定いたしました。

■株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 Tel 0120-288-324（フリーダイヤル）
上 場 市 場	東京証券取引所 JASDAQ市場
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.invast.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（みずほ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記株主メモに記載のみずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行（トラストラウンジを除く）、みずほ銀行、みずほ証券の各本支店および営業所でお支払いいたします。

配当金のお支払期限について

当社定款の規定により、配当金を受取る権利は、支払開始後3年を経過しますと消滅いたしますので、お早めにお受取りください。



インヴァスト証券IR

Facebookページ&Twitterアカウントのご案内

当社の株主・投資家の皆さまに向け、IR情報、決算・財務情報、株式に関する情報等をリアルタイムに配信してまいります。
皆さまの「いいね！」＆「フォロー」をお待ちしております。



インヴァスト証券 IR室
Facebookページ

■ インヴァスト証券 IR
Facebookページ



インヴァスト証券 IR室
Twitter アカウント

■ インヴァスト証券 IR
Twitterアカウント
(@invast_ir)

URL▶<https://www.facebook.com/invast.ir>

URL▶https://twitter.com/invast_ir



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。